

めあてを高く
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校
校長室だより 20

令和 3年 1月26日
こん どう ふみ ひこ
近 藤 文 彦



緊急事態宣言のため授業参観等中止……

1月16日(土)に予定していた授業参観・校内書き初め展参観・梅園展は急遽中止にさせていただきました。分散参観の予定でしたが、緊急事態宣言が愛知県にも発出されたため、岡崎市内の感染レベルも文部科学省の基準でレベル3となり、実施できなくなりました。参観や出品を楽しみにされていた方には申し訳ない限りです。

○授業を見ていただく機会

授業参観の貴重な機会を失ってしまいましたが、子供たちは、この時期にふさわしい授業にも取り組んでいました。百人一首の授業では、上の句を読んだだけでしっかり札を取っている子もいました。凧揚げは風の状態に左右されながらも、自分の作った凧を一生懸命揚げていました。糸を引いたり戻したりしながら少しずつ糸を延ばして高く揚げることを教えると挑戦する子もいました。授業で



【授業参観予定日の授業の様子】

の挙手が素晴らしい学級もありました。改めて、多くの子供が挙手をして自分の考えを周りに聞こえる声で発言できる溔漑とした授業は素晴らしいと感じました。

○梅園展・校内書き初め展・岡崎市書き初め展(中止)

梅園展には、出品準備をして、すでに作品を持参いただいた方もありました。本校園芸部も、休み時間を使って「寄せ植え」の作品作りに取り組んでいました。大変残念です。寄せ植え作品は、今後校内に展示されます。



【園芸部の寄せ植え作り】

校内書き初め展は、学年ごとに時間を決めて、作品の鑑賞を行いました。下学年には難しい文字もありましたが、兄弟の作品をすぐに見つける姿が多くありました。上学年や友達の文字を見て、自分の目標を設定し、そこを目指して努力できるように指導・支援したいと考えます。



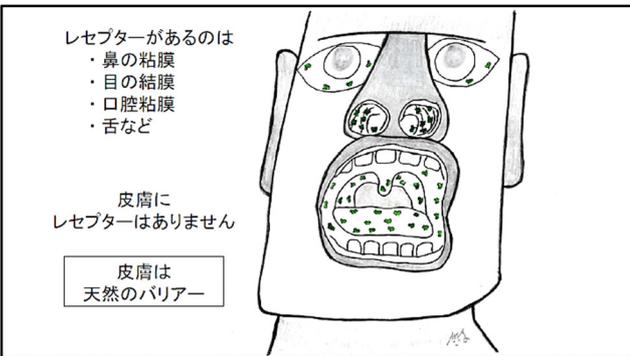
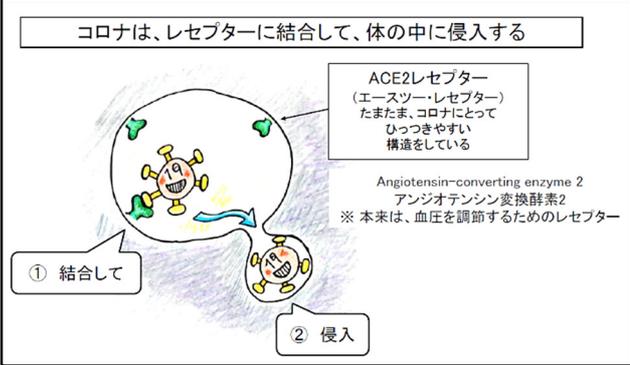
【中止になった岡崎市書き初め展作品：玄関東廊下に展示】



【校内書き初め展】

大切なことをどう伝えるのか

1月19日の朝会で、右のような「鼻だしマスク」はよくないので、マスクを正しく着けるように話をしました。鼻からも新型コロナウイルスの飛沫が出たり、吸い込んだりするからです。さらに、下のポスターを示して「黙食をしよう」と話しました。給食の時間、マスクを外した食事の様子に気がなっていたからです。ここでも先程と同じように、マスクを外すと新型コロナウイルスの飛沫が飛んだり、その飛沫を吸い込んだりするから危ないと説明しました。何となく危険なことはわかりますが、感染する仕組みはよくわからない説明をしていました。



もく しよく

黙食

にご協力ください

**お食事中的の会話が
飛沫感染リスクになります**

このリスクは外食に限らず、学校や職場でも同様です。
当店では「黙食」を推奨しております。
楽しいお食事のひとつをご提供できず大変心苦しいのですが、当面はお食事中（ノーマスク時）の会話はお控えください。

【飲食店のポスター】

5つの粘膜の入り口をカバーしましょう

1 2 3 4 5

目をさわらない
鼻をさわらない
口をさわらない

大切なことは
レセプターに、コロナを
つけない！

レセプターに
ひつつきたーい

【新型コロナウイルス感染予防のポイント】

その後、日本赤十字豊田看護大学の下間正隆教授の講演資料を読む機会がありました。資料「イラストで理解する新型コロナウイルスの感染対策」には、イラストで大変分かりやすく書いてありました。「新型コロナウイルスはレセプターに結合して体の中に侵入する」「レセプターがあるのは、鼻・目・口腔の粘膜、舌等。皮膚にはない」だから、感染防止するためには「レセプターに新型コロナウイルスを近づけないこと」「5つの粘膜の入り口をカバーすること」です。さらに「顔を触るときには、手を洗うこと」「マイクロ飛沫（空中を漂っているウイルス）は換気で吹き飛ばす」ことが重要なのです。こういうことが分かると、マスクを外して食事をする時が最もリスクが高いとよくわかります。「黙食」や「食事中的の換気」の大切さも伝わります。しかし、最も必要なことは、実践することです。手洗い・マスク・換気等を再点検します。

体育館前に「ざら板」を設置しました

シューズの履き替えがしやすくなり、砂が体育館内に上がりにくくなるはずですが、大切に使いたいです。

本校の子どもは「ざら板」を知りませんでした。「ざら板」は愛知県の方言のようです。一般的には、下駄箱の前にある大きな「すのこ」でしょうか。

